

食見地区周辺海域調査

福井県海浜自然センター・清水芳樹・山田裕章

(福井県フィールドリサーチ)

1 はじめに

福井県海浜自然センターが位置する食見海岸は、常神半島と黒崎半島に囲まれた世久見湾南部にある。湾内の4箇所30.2haの海域は、すぐれた海中景観を有することから、福井県では唯一の海中公園(三方海中公園)に指定されている。これらの海域において継続的な調査により藻場や生物相の現状把握に努めることは、当該海域の環境保全および普及啓発を推進する上で重要といえる。そこで、当センターでは平成11年度から当該海域において藻場および生物相の調査を継続的に実施している。

2 藻場調査

(1) 目的

三方海中公園に生育するホンダワラ類の分布と現存量の概況を把握する。

(2) 調査地と方法

調査は、平成18年5月6日に三方海中公園地区2号ワレグリ地先海域で実施した。調査方法はマンタ法を用いた。三方海中公園地区において、離岸距離50m~100mの範囲に調査ラインを設定し、ライン上50m間隔毎に設けた10mコドラート内の海藻類の被度を記録した。被度は、0~33%を「1」、33~66%を「2」、66~100%を「3」とした。

一定ルートを一定速度で航行する船に牽引された調査員により海中を目視で調査する方法

(3) 結果

調査結果を表1および図1に示した。調査地は、水深1.5~4m、底質は礫に転石、岩が混じっていた。ホンダワラ類は、調査地全域に渡って分布し、特にSt.1、St.5、St.8、St.10において、大きなガラモ場がみられた。

表1 藻場調査の結果

St.番号	水深(m)	底質	被度
1	3	岩	3
2	4	砂、岩	2
3	4	砂、礫	2
4	4	礫、岩	2
5	3	岩	3
6	3	砂、岩	1
7	3	礫	2
8	2	礫	3
9	1.5	砂	1
10	2	岩	3
11	3	岩	2
12		測定不能	
13	3	砂、岩	2
14	4	岩	2

被度の区分

1 : 0 ~ 33%

2 : 33 ~ 66%

3 : 66 ~ 100%

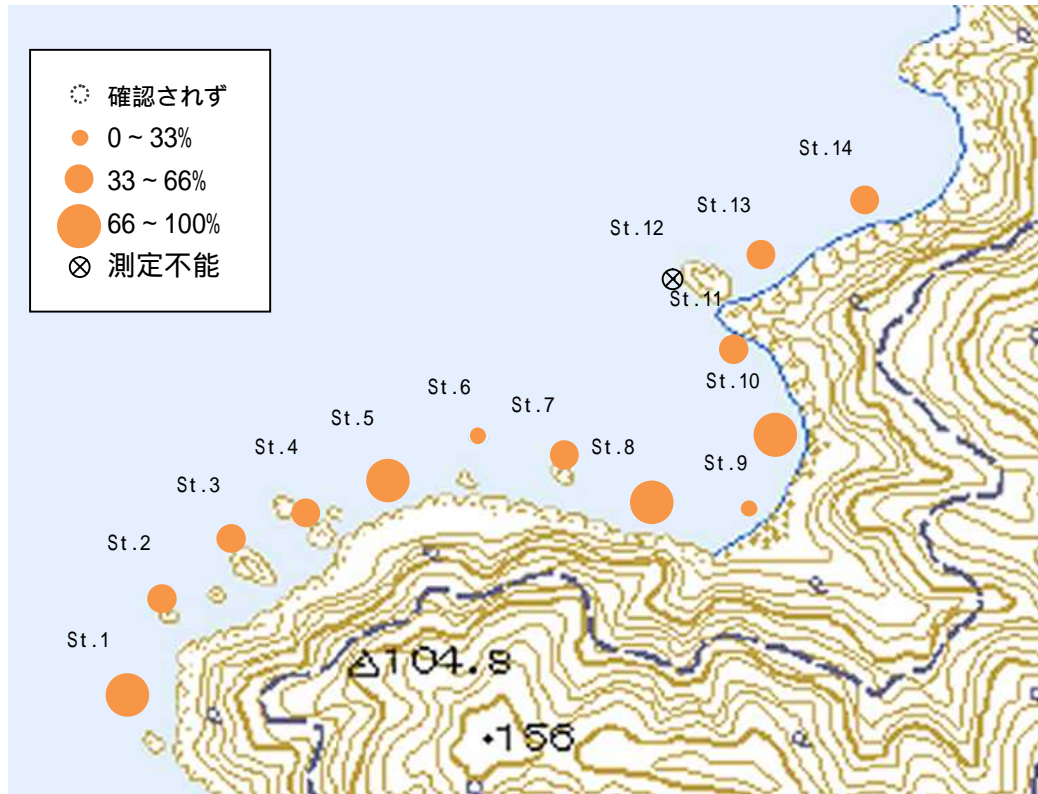


図1 三方海中公園地区2号における海藻類の被度

3 生物相調査

(1) 目的

食見地区沿岸海域の生物相とその経年変化を明らかにする。

(2) 調査地と方法

調査は、平成18年9月29日に世久見湾奥の海浜自然センター北側に隣接する遊歩道地先海域において実施した。

3m四方のコドラートを3箇所設置し(図2)スノーケリングによる目視観察によって、コドラート内に出現する海藻類、無脊椎動物(軟体動物、甲殻類、棘皮動物、環形動物、刺胞動物)、魚類について記録した。目視観察は、二人一組で20分間行い、表2の基準にしたがって記録した。いずれの分類群についても微小な個体や岩の下、割れ目の奥などに隠れているものは調査対象から除外した。



図2 生物相調査地点

表2 記録方法

分類群	記録方法	
海藻類	確認された種の種名を記録する	
無脊椎動物	軟体動物（貝類、イカ類、タコ類）、甲殻類（エビ類、カニ類）、棘皮動物（ヒトデ類・ウニ類・ナマコ類・ウミシダ類）、環形動物（ケヤリムシ類）	- : 1~9個体 + : 10~19個体 ++ : 20個体以上
	刺胞動物（イソギンチャク類・クラゲ類）	- : 被度1%未満 + : 被度1%以上
魚類	種名と個体数を記録する。 A:1個体 B:2~10個体 C:11~50個体 D:51個体以上	

(3) 結果

調査地の水深は、St.1が0.8~2m、St.2が1.2m、St.3が2~3.5mであった。底質は、St.1では砂利の中に転石が点在していた。St.2およびSt.3では巨礫が主体であった。結果を表3~5に示した。海藻類については、5目5科5種が確認された、無脊椎動物については、17目21科27種、魚類については、3目8科8種が確認された。

表3 定点調査地点結果（海藻類）

綱	目	科	種名	St.1	St.2
褐藻	コンブ	コンブ	クロメ		
紅藻	マサゴシバリ	ワツナギソウ	ヒラワツナギソウ		
	サンゴモ	サンゴモ	サンゴモsp		
アオサ藻	ミル	ミル	ミル		
	アオサ	アオサ	アナアオサ		
3綱	5目	5科	5種	3種	2種

表4 定点調査地点結果（無脊椎動物）

門	綱	目	科	種名	St.1	St.2	St.3
海綿動物	尋常海綿	磯海綿	イソカイメン	ダイダイイソカイメン		-	
		単骨海綿	カワナシカイメン	ムラサキカイメン			-
刺胞動物	鉢虫	根口クラゲ	ビゼンクラゲ	エチゼンクラゲ	-		
		旗口クラゲ	ミズクラゲ	ミズクラゲ			-
	花虫	イシサンゴ	キサンゴ	ムツサンゴ	+		
有櫛動物	無触手	ウリクラゲ	ウリクラゲ	ウリクラゲ			-
軟体動物	多板	新ヒザラガイ	ケムシヒザラガイ	ケムシヒザラガイ			-
			クサズリガイ	ヒザラガイ		-	
	二枚貝	カキ	イタボガキ	イワガキ	-		
			イガイ	ヒバリガイ		-	
	腹足	古腹足	サザエ	ウラウスガイ		-	-
				サザエ		-	-
			ニシキボウズ	イシダタミガイ		-	-
				オオコシダカガンガラ		-	-
				クボガイ		-	+
				ヘソアキクボガイ		-	-
新腹足	アッキガイ	イボニシ		-	-		
環形動物	多毛	ケヤリムシ	ケヤリムシ	ケヤリムシ	-		
節足動物	軟甲	十脚	ホンヤドカリ	ケアシホンヤドカリ		-	
				ホンヤドカリ		-	
	甲殻	フジツボ	フジツボ	フジツボ	-		
棘皮動物	ウニ	ホンウニ	オオバフンウニ	バフンウニ		-	-
			ナガウニ	ムラサキウニ		-	-
	クモヒトデ	クモヒトデ	クモヒトデ	ニホンクモヒトデ		-	-
	ヒトデ	ヒメヒトデ	イトマキヒトデ	イトマキヒトデ		-	-
7門	13綱	17目	21科	27種	13種	16種	13種

表5 定点調査地点結果（魚類）

目	科	種名	St.1	St.2	St.3
カサゴ	フサカサゴ	カサゴ	B		A
	カジカ	アナハゼ	A		
スズキ	ハゼ	キヌバリ		A	A
	ヘビギンポ	ヘビギンポ			A
	ベラ	ホンベラ	C		B
	イソギンポ	ホシギンポ		A	
	イシダイ	イシダイ			A
フグ	フグ	コモンフグ	A		
3目	8科	8種	4種	2種	5種